



出版クラブ会報 No.619

# 読書のめぐみ運動70回記念 法務大臣感謝状が贈呈される

2023年8月2日(水)千代田区霞が関の法務省大臣室にて、「読書のめぐみ運動 法務大臣感謝状贈呈式」が開催された。

法務大臣感謝状は、昨年度70回目を迎えた「読書のめぐみ運動」を通して、矯正施設被収容者の改善更生のために、当クラブが永年支援をおこなってきたことに對し贈られたものである。

式は大津幸雄少年矯正課補佐官の進行ですすめられ、贈呈側は齋藤健法務大臣他、花村博文矯正局長、山本宏一少年矯正課長、細川隆夫総務課長が出席。受納側である日本出版クラブからは、野間省伸会長他、風間敬子評議員、横川裕史専務理事、講談社社長室より藤田康雄部長が出席した。

関係者が見守るなか、感謝状が齋藤法務大臣から野間会長に手渡され、表彰状を手にする両名の記念撮影がおこなわれた。(写真下/提供 法務省)  
贈呈式前後の懇談会では、贈呈側より矯正教育の現状や更生に向けて

主な記事

- 日本出版クラブ創立70周年記念号
- ▽読書のめぐみ運動70回記念—法務大臣感謝状が贈呈される……………二〇三
- ▽写真と年表で振り返る—出版クラブの70年……………四〇三
- ▽祝 日本出版クラブ創立70周年 協賛広告……………四〇三
- ▽出版平和堂 第55回 出版功労者顕彰会—新顕彰者11氏が決まる……………四〇三
- ▽日本出版クラブ定時理事会・評議員会開催……………四〇三
- ▽〈出版歳時記〉田舎暮らしのクルマ事情……………四〇三

の読書の役割などが報告され、受納側からは、全国の矯正施設から送られてきた丁寧なお礼状が披露された。また「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」の



幹事長も務める齋藤大臣と野間会長の間で、書店数の減少や生成AIによる出版界への今後の影響などについて意見交換がなされ、終始和やかな雰囲気包まれた。

## 日本出版クラブ 野間省伸会長 謝辞

「読書のめぐみ運動」は昨年度、記念すべき70回目の節目を迎えました。これもひとえに関係各位のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

この運動は毎年の読書週間の行事として、多くの方々に読書の楽しさを知っていただこうと、当クラブ維持員社よりお預かりした図書を、矯正施設や児

## 齋藤健法務大臣 ご挨拶

一般財団法人日本出版クラブにおかれては、長年にわたって、全国の矯正施設に多くの良書を御寄贈いただき、その献身的な御支援に敬意を表するとともに、深く謝意を申し上げます。

申すまでもなく、良質な書籍に触れることは、健全な教養の育成や情操の涵養に有益であり、矯正施設の被収容者の改善更生と円滑な社会復帰に資するものです。

被収容者の中には、社会において読書習慣がなかった者も少なくないところ、皆さまのおか

童福祉施設の方々へ寄贈する運動です。寄贈させていただいた冊数は、70年という歳月を経て176万冊という積み重ねとなりました。

毎年、寄贈先から寄せられる感謝のお手紙には、本を手にとり、読書をした素直な喜びにあふれ、改めて本をつくることの素晴らしさと責任の重さを感じております。また、この運動を通じて、多くの方々に少しでもお役に立てることが、私たちにとりましても大きな喜びであり、励みでもあります。

70年継続したこの運動を、これからも絶やすことなく、皆さまとともに歩んでまいりたいと存じます。  
本日は誠にありがとうございます。

げで、多くの者が、初めて書籍を通じた気付きや感銘を得られているものと考えています。

御承知のとおり、法務省では、国と地方公共団体・民間が一体となって、再犯防止に関する施策を推進しており、民間協力者の方々のお力添えが欠かせません。

皆さまの心温まる活動は、被収容者の改善更生に非常に意義深いものでありますので、今後とも御協力を賜りますようお願い申し上げます。  
一般財団法人日本出版クラブの益々の御健勝と御多幸をお祈りいたします。

日本出版クラブ創立70周年記念号

# 日本出版クラブ創立70周年企画 写真と年表で振り返るー出版クラブの70年

1953年9月 日本出版クラブ設立総会

下中彌三郎氏(平凡社)初代会長に就任



1954年8月 文部省の法人設立認可を受け財団法人となる

1955年3月 出版クラブ会報第1号刊行

4月 新宿区袋町6の出版クラブ会館の敷地を取得

1956年1月 第1回出版関係新年名刺交換会開催

1957年8月 出版クラブ会館(旧館)落成



1961年4月 赤尾好夫氏(旺文社)第2代会長に就任



1969年9月 第1回合記祭(のちの出版功労者顕彰会)を出版平和堂にて開催

野間省一氏(講談社)による挨拶



野間省一氏(講談社)による挨拶

1970年10月 第1回バスハイキング(尾瀬)開催

1975年2月 第1回出版講座(現代の出版)開講

1979年9月 ㈱日本出版クラブ会館設立総会

1980年11月 日本出版クラブ新会館にて営業開始(ホテルニューオータニ運営)



12月 武内俊三氏(雄鶏社)第3代会長に就任



2000年12月

日本出版クラブ会館の運営を(財)日本出版クラブが引き継ぐ(実質的な直営)

2001年11月

「読書のめぐみ運動」50周年記念の集い



森山眞弓法務大臣より感謝状を贈呈される野間佐和子会長

2002年7月

「アフガニスタン児童教育支援金募金」415万円をユニセフに寄付

2004年12月

「台風23号と新潟県中越地震災害義援金」1328万円を日本赤十字社へ寄託

2005年2月

「スマトラ沖地震・津波救援金」1412万円を日本赤十字社へ寄託

2005年11月

「パキスタン北部地震救援金」1192万円を日本赤十字社へ寄託

2008年7月

「中国四川大地震・ミャンマーサイクロン被害救援金」897万円を日本赤十字社へ寄託

2011年3月

東日本大震災発生を受け、日本書籍出版協会・日本雑誌協会とともに、「大震災」出版対策本部を発足

2011年6月

野間省伸氏(講談社)第7代会長に就任



1962年4月 第1回全出版人大会開催(椿山荘)



1964年2月 定例午餐会・講演会が開かれるようになる

1964年3月 『出版クラブだより』復刻第1号刊行

1966年5月 全日空機事故 出版関係23氏の追悼会

8月 出版平和講(出版平和堂の前身)発足

第1回出版クラブ納涼の夕べ(ビアパ  
ーティ)開催

11月 第1回受章者祝賀会開催

1967年1月 第1回スキーバス開催

1968年4月 河口湖研修センター竣工

6月 第1回出版研修会開催



研修会に参加された方々の集合写真

1969年9月 出版平和堂(箱根芦ノ湖畔)落慶式

1981年7月 第1回関西出版研修会開催

1983年9月 日本出版クラブ創立30周年祝賀会

1987年2月 『出版クラブ30年史』刊行

1989年8月 服部敏幸氏(講談社)第4代会長に就任



1989年9月 出版平和堂20周年式典・『出版平和財  
団のあゆみ』刊行

1991年5月 全出版人大会第30回記念大会・『全出  
版人大会30年史』刊行

1993年8月 『北海道南西沖地震』義援金1315  
万円を日本赤十字社へ寄託

1993年9月 日本出版クラブ創立40周年記念祝賀会

12月 石川晴彦氏(主婦の友社)第5代会長  
に就任



1995年2月 『兵庫県南部地震』義援金8459万  
円を日本赤十字社へ寄託

1996年6月 出版平和堂事業を出版平和財団から出  
版クラブへ移管

1998年11月 野間佐和子氏(講談社)第6代会長に就任



2011年6月 『出版界の東日本大震災共同義援金』  
1億682万円を日本赤十字社へ寄託

「大震災出版復興基金」を開設し(大  
震災)出版対策本部の一員として、被  
災地への図書寄贈・図書カード寄贈・  
図書館整備・視察活動等、読書環境の  
復興に寄与する



被災地へ運び出さ  
れるダンボール詰  
めされた寄贈図書

2013年4月 内閣府の移行認可を受け一般財団法人  
に移行

2015年9月 新宿区袋町6・1の土地について野村  
不動産(株)と一般定期借地権契約を締結

2018年8月 千代田区神田神保町に出版クラブビル  
が完成



竣工式に集まった出版クラブビル  
関係者

10月 新宿区袋町6より事務所を移転

11月 出版クラブホール・会議室オープン

2020年5月 新型コロナウイルスの影響により、全  
出版人大会・出版平和堂・新年名刺交  
換会等の恒例事業が開催中止や規模を  
縮小しての開催となる

2022年10月 第70回「読書のめぐみ運動」開催

2023年9月 日本出版クラブ創立70周年

# 祝 日本出版クラブ創立70周年

賜りました名刺広告は到着順に掲載させていただきました。  
ご協賛いただきました皆さま、ありがとうございます。

## 一般社団法人 日本雑誌協会

理事長 堀内丸恵  
東京都千代田区神田神保町一―三二  
出版クラブビル5F  
電話 〇三(三二九九)〇七七五

## 一般社団法人 日本出版取次協会

会長 近藤敏貴  
東京都千代田区神田神保町一―三二  
出版クラブビル6F  
電話 〇三(三二九九)六七六三

## 株式会社 千倉書房

代表取締役社長 千倉成示  
東京都中央区京橋三―七一―  
電話 〇三(三三二八)六九〇一

## 株式会社 新学社

代表取締役社長 山本伸夫  
京都市山科区東野中井ノ上町11―39  
電話 〇七五(五八一)六一一九

## 株式会社 光文社

代表取締役社長 武田真士男  
東京都文京区音羽一―一六―六

## 株式会社 第一学習社

代表取締役 松本洋介  
広島市西区横川新町七丁目一四番  
電話 〇八二(二三四)六八〇一

## 株式会社 竹尾

代表取締役社長 竹尾稠  
東京都千代田区神田錦町三―二二―六  
電話 〇三(三三一九)三六一一

## 株式会社 芳文社

代表取締役社長 孝壽尚志  
東京都文京区後楽一丁目二番一二号  
電話 〇三(三八一五)一五二二(代表)

## 株式会社 偕成社

代表取締役 今村正樹  
東京都新宿区市谷砂土原町三―五  
電話 代表 〇三(三三二六〇)三三二一

## 株式会社 あかね書房

代表取締役社長 岡本光晴  
東京都千代田区西神田三―二二―  
電話 〇三(三三二六三)〇六四一

## 医歯薬出版株式会社

代表取締役社長 白石泰夫  
東京都文京区本駒込一―七一―〇  
電話 〇三(五三九五)七六〇〇

## 実教出版株式会社

代表取締役社長 小田良次  
東京都千代田区五番町五番地  
電話 〇三(三三三八)七七〇〇

# 小学館

代表取締役社長 相賀 信宏

〒10118001  
東京都千代田区一ツ橋二丁目三番一号

## 株式会社 八重洲出版

代表取締役 酒井 雅康

本社 〒104-8488 東京都中央区八丁堀四・五・九(エイトビル)  
支社 電話(03)三五五二-八四三(代名) F.A.X.(03)三五五二-八三三  
〒五五四〇〇五二 大阪府吹田市広芝町四・一(美賢ビル五〇三号)  
電話(06)六三三〇八三三 F.A.X.(06)六三三〇八三三

## 株式会社 講談社

代表取締役社長 野間省伸

東京都文京区音羽二丁目二二

## 昭和図書株式会社

代表取締役社長 永井 真士

東京都千代田区神田神保町2丁目30番地  
電話 〇三(三三二六)五五〇一

## 株式会社 オーム社

代表取締役社長 村上 和夫

東京都千代田区神田錦町三十一  
電話 〇三(三三三三)〇六四一

教育と歩みつづける

## 株式会社 日教販

代表取締役社長 渡部正嗣

埼玉県戸田市上戸田四丁目三三  
電話 〇四八(四四一)九三二一

## 丸善出版株式会社

代表取締役社長 池田 和博

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目一七  
神田神保町ビル六階  
電話 〇三(三五一二)三二五六

## 株式会社 主婦と生活社

代表取締役社長 高納 勝寿

東京都中央区京橋三丁目5番7号  
電話 〇三(三五六三)五二二〇

## 株式会社 裳華房

代表取締役社長 吉野 和浩

東京都千代田区四番町八ノ一  
電話 〇三(三三二六)九二六六

## 株式会社 コロナ社

代表取締役社長 牛来 真也

創立1927年  
  
東京都文京区千石四一四六一〇  
電話 〇三(三九四一)三三三二(代)

## 株式会社 増進堂・受験研究社

代表取締役社長 岡本 明剛

  
since 1890  
大阪市西区新町二丁目一九一―五  
電話 〇六(六五三三)一五八一

## 株式会社 双葉社

代表取締役社長 戸塚 源久

東京都新宿区東五軒町三番二八号  
電話 〇三(五二六二)四八一

## 株式会社 光和コンピュータ

代表取締役 寺川 光男

  
東京都千代田区岩本町三丁目一―二  
岩本町東洋ビル  
電話 〇三(三八六五)一九八一

## 株式会社 緑書房

代表取締役会長 森田 猛  
代表取締役社長 森田 浩平

東京都中央区東日本橋三丁目一―四  
電話 〇三(六八三三)〇五七〇

## 株式会社 秋田書店

代表取締役社長 樋口 茂

東京都千代田区飯田橋二丁目十番八号  
電話 〇三(三三六四)七〇一一(代表)



# 株式会社文理

代表取締役社長 安達 健一  
東京都品川区西五反田二丁目十一番八  
電話 〇三(六四二二)七二五〇

有限

# 富山房

代表取締役社長 坂本 起一  
東京都千代田区神田神保町一丁目三  
電話 〇三(三二九九)二二七一



# 日本製紙株式会社

代表取締役社長 野沢 徹  
東京都千代田区神田駿河台四丁目六  
電話 〇三(六六六五)一一一一

# 産業図書株式会社

代表取締役 飯塚 尚彦  
東京都千代田区飯田橋二丁目一一三  
電話 〇三(三二二六)七八二一

# 株式会社東洋経済新報社

代表取締役社長 田北 浩章  
東京都中央区日本橋本石町一丁目一  
電話 〇三(三二四六)五四〇四

# 株式会社徳間書店

代表取締役社長 小宮 英行  
東京都品川区上大崎三丁目一  
目黒セントラルスクエア

株式

# とうこう・あい

代表取締役社長 鐘ヶ江 弘章  
東京都中央区銀座七丁目三十一番二  
電話 〇三(五一四八)七二〇〇

# 株式会社工藤出版サービス



代表取締役社長 工藤 裕樹  
東京都板橋区前野町4丁目40番18  
電話 〇三(三九六五)五二〇一

# 株式会社一迅社

代表取締役社長 野内 雅宏  
東京都新宿区新宿三丁目一一一三  
京王新宿追分ビル五階  
電話 〇三(五三一二)六二六四

# 株式会社清水書院



代表取締役社長 野村 久一郎  
東京都千代田区飯田橋三丁目一一一六  
電話 〇三(五二一三)七一五一

# 株式会社南江堂

代表取締役社長 小立 健太  
東京都文京区本郷三丁目四二番六  
電話 〇三(三八一一)七一四〇(代表)

# 出版企業年金基金

出版界で働く皆さんを応援します  
理事長 浅野 純次  
東京都千代田区神田神保町一丁目三二  
出版クラブビル7F  
電話 〇三(五二五九)九一一一

# 上毛印刷株式会社

代表取締役 大澤 丈太  
東京都豊島区南池袋二丁目三番五号  
電話 〇三(三九八四)八五七六

# 全日本製本工業組合連合会

会長 田中 真文  
東京都板橋区大和町二十八丁目一  
電話 〇三(五二四八)二三七一

# 株式会社マガジンハウス

代表取締役社長 片桐 隆雄  
東京都中央区銀座三丁目三十一番一〇  
電話 〇三(三五四五)七一一一

# 大日本図書 株式会社

代表取締役社長 中村 潤  
東京都文京区大塚三丁目十一番六号  
電話 〇三(五九四〇)八六七〇

# 日本紙通商株式会社

代表取締役社長 吉田 太  
東京都千代田区神田駿河台四丁目六番地  
電話 〇三(六六六五)七〇三二

# 株式会社 中央経済社ホールディングス

代表取締役会長 山本 継  
代表取締役社長 山本 憲央  
東京都千代田区神田神保町一三三  
電話 〇三(三二九三)三三七一

# ひかりのくに株式会社

代表取締役社長 岡本 功  
大阪市天王寺区上本町三二二一十四  
電話 〇六(六七六八)一一五一

# 株式会社 産労総合研究所

代表取締役社長 平 盛之  
東京都千代田区永田町一―一―一  
三宅坂ビル  
電話 〇三(五八六〇)九七九九

# 株式会社 佼成出版社

代表取締役社長 中沢 純一  
杉並区和田二―一―七―一  
電話 〇三(五三八五)二二二二(代)

# 株式会社 養賢堂

代表取締役社長 及川 雅司  
東京都文京区本郷5丁目30番15号  
電話 〇三(三八一四)〇九一一

# 株式会社 永岡書店



代表取締役社長 永岡 純一  
東京都練馬区豊玉上―一―七―一  
電話 〇三(三九九二)一五一一

# 株式会社 メイツユニバーサルコンテンツ

代表取締役社長 大羽 孝志  
東京都千代田区平河町二丁目一番地八号  
電話 〇三(五二七六)三〇五〇

# 株式会社 医学書院

代表取締役社長 金原 俊  
東京都文京区本郷一―一―八―二三  
電話 〇三(三八一七)五六〇〇

# 株式会社 世界思想社教学社

代表取締役 上原 寿明  
京都市左京区岩倉南桑原町五六番地  
電話 〇七五(七二)六五〇〇(代表)

# 株式会社 旺文社

代表取締役社長 糸川 秀樹  
東京都新宿区横寺町五五  
電話 〇三(三二六六)六四〇〇

# 株式会社 新興出版社啓林館

代表取締役社長 佐藤 諭史  
大阪市天王寺区大道四丁目三番二五号  
電話 〇六(六七七九)一五三一

# 株式会社 KPSホールディングス

代表取締役社長 峰岸 延也  
東京都文京区目白台三―二九―一八  
電話 〇三(三九四六)一三四〇

# 株式会社 筑摩書房

代表取締役社長 喜入 冬子  
東京都台東区蔵前二―一五―三  
電話 〇三(五六八七)二六〇一

株式会社  
**読 書 人**

代表取締役社長 明石 健五  
東京都千代田区神田神保町一三十五  
富山房ビル6F  
電話 〇三(五二四四)五九七五

**光村図書出版株式会社**

代表取締役社長 吉田 直樹  
東京都品川区上大崎二一九一九  
電話 〇三(三四九三)二二一一

**学校図書株式会社**

代表取締役社長 芹澤 克明  
東京都千代田区神田淡路町二一三一一  
電話 〇三(六二八五)二九一六

株式会社  
**学研ホールディングス**

代表取締役社長 宮原 博昭  
東京都品川区西五反田二一一一八  
電話 〇三(六四三二)一〇〇一

**大日本印刷株式会社**

代表取締役社長 北島 義 斉  
東京都新宿区市谷加賀町一一一一  
電話 〇三(三二六六)二二一一

株式会社  
**KADOKAWA**

代表取締役社長 夏野 剛  
東京都千代田区富士見二一一三十三

株式会社  
**ベースボール・マガジン社**

代表取締役社長 池田 哲雄  
東京都中央区日本橋浜町二一六一一九  
TIE浜町ビル  
電話 〇三(五六四三)三八八〇



株式会社  
**建帛社**

代表取締役社長 筑紫 和男  
東京都文京区千石四丁目二番十五号  
電話 〇三(三九四四)二六一三

100年の笑顔、夢 100年先の未来も  
株式会社  
**金の星社**



代表取締役社長 斎藤 健司  
東京都台東区小島一丁目四番地三号  
電話 〇三(三八六一)一八六一

**日販**  
**日本出版販売株式会社**

代表取締役社長 奥村 景二  
千代田区神田駿河台四一三

**日本書店商業組合連合会**

会長 矢幡 秀治  
東京都千代田区神田駿河台一一二  
電話 〇三(三二九四)〇三八八

株式会社  
**少年画報社**

代表取締役 戸田 利吉郎  
東京都千代田区西神田二一八一五  
電話 〇三(三二六八)三五〇一

株式会社  
**博報堂**

代表取締役社長 水島 正幸  
東京都港区赤坂五―三―一  
赤坂Bizタワー  
電話 〇三(六四四一)八一一一

株式会社  
**白泉社**

代表取締役社長 菅原 弘文  
東京都千代田区神田淡路町二一一二  
電話 〇三(三五一六)八〇〇〇

株式会社  
**春陽堂書店**

代表取締役 伊藤 良則  
東京都中央区銀座三―一―〇―九  
KEC銀座ビル五階五〇三五号  
電話 〇三(六二六四)〇八五五  
FAX 〇三(六二六四)〇八五六

株式会社  
リイド社

代表取締役 齊藤哲人  
東京都杉並区高円寺北二丁目三十一番二  
電話 〇三(五三七三)七〇〇一

株式会社  
河出書房新社

代表取締役 小野寺優  
東京都渋谷区千駄ヶ谷2丁目32番2号  
電話 〇三(三四七八)三二一五一

一般社団法人  
教科書協会

会長 星野泰也  
東京都江東区千石一丁目九番二八号  
電話 〇三(五六〇六)九七八一

電気書院

代表取締役社長 田中聡  
〒一〇一〇〇五一  
東京都千代田区神田神保町一丁目三  
ミヤタビル2F  
電話 〇三(五二五九)九一六〇

新生紙パルプ商事株式会社

代表取締役社長 三瓶悦男  
東京都千代田区神田錦町一丁目八  
電話 〇三(三二五九)五〇八〇

出版健康保険組合

理事長 高井昌史  
東京都千代田区神田駿河台一丁目七

日本文教出版株式会社

代表取締役社長 佐々木秀樹  
大阪府住吉区南住吉四丁目七番五  
電話 〇六(六六九二)一一二六一

日本加除出版株式会社

代表取締役社長 和田裕  
東京都豊島区南長崎三丁目一六番一六  
電話 〇三(三九五三)五七五七

株式会社  
日本スポーツ企画出版社

代表取締役社長 竹谷鋭  
東京都文京区本郷二丁目33番5号  
電話 〇三(三八一五)三六六三

株式会社  
東京創元社

代表取締役 渋谷健太郎  
東京都新宿区新小川町一番五号  
電話 〇三(三二六八)八二〇一

株式会社  
メヂカルフレンド社

代表取締役 亀井淳  
東京都千代田区九段北三丁目二十四  
電話 〇三(三二六四)六六一一

株式会社  
小学館集英社プロダクション

代表取締役社長 都築伸一郎  
東京都千代田区神田神保町二丁目三〇  
電話 〇三(三五一五)六八〇二

株式会社  
トーハン

代表取締役社長 近藤敏貴  
東京都新宿区東五軒町6番24号  
電話 〇三(三二六九)六一一一

凸版印刷株式会社

代表取締役社長 磨秀晴  
東京都文京区水道一丁目三十三  
電話 〇三(三八三五)五一一一

株式会社  
童心社

代表取締役社長 後藤修平  
東京都文京区千石四丁目一六  
電話 〇三(五九七六)四一八一

# 共立出版株式会社



代表取締役社長 南 條 光 章

東京都文京区小日向四一六一九  
電話 〇三(三九四七)二五一一

# 株式会社 世界文化ホールディングス

代表取締役社長 鈴木 美奈子

東京都千代田区九段北四二二一九  
電話 〇三(三二六二)五一一一

# 一般社団法人 金融財政事情研究会

理事長 加藤 一 浩

東京都新宿区南元町一九番地  
電話 〇三(三三五八)〇〇一一

# 株式会社 恒星社厚生閣

代表取締役 片岡 一 成

東京都新宿区四谷三栄町三一四  
電話 〇三(三三五九)七三七一

# TOMOWEL 共同印刷株式会社

代表取締役  
社 長

藤 森 康 彰

東京都文京区小石川四一四一二二  
電話 〇三(三八一七)二二(代表)

# 日本紙パルプ商事株式会社

代表取締役社長 渡 辺 昭 彦  
社長執行役員

東京都中央区勝どき三丁目12番1号  
フォアフロントタワー  
電話 〇三(三三五四)八五二二



# 日本図書普及株式会社

代表取締役社長 平 井 茂

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町二丁目11-3  
TEL(03)32671231

# 聖教新聞社

代表理事 萩 本 直 樹

東京都新宿区信濃町7番地  
電話 〇三(三三三三)六一一一

# 株式会社 チャイルド本社

代表取締役社長 大 橋 潤

東京都文京区小石川5丁目24番21号  
電話 〇三(三八一三)三七八一



# KPPグループホールディングス株式会社

代表取締役社長  
国際紙パルプ商事株式会社  
代表取締役 社長執行役員

栗 原 正

東京都中央区明石町六二二四  
電話 〇三(三五四二)四一六六(代)

想いを確かなカタチに

# 藤原製本株式会社

代表取締役 藤 原 智 之

本社 事業所 京都市西京区牛ヶ瀬新田泓町六一  
カクイマス事業部 東京都千代田区神田淡路町一三三  
ケイアイシャトービル一階

HP:https://fujiwara-bb.co.jp

# 一般社団法人 自然科学書協会

理事長 池 田 和 博

東京都千代田区神田神保町一〇一  
神保町10ビル3階  
電話 〇三(五五七七)六三〇一

# 集英社

代表取締役社長 廣 野 眞 一

〒10118050  
東京都千代田区一ツ橋二一五一〇

# 文化産業信用組合

理事長 牧 瀬 充 典

東京都千代田区神田神保町一〇一  
電話 〇三(三三九二)二七一

# 株式会社 博文館新社

代表取締役 大 橋 一 弘

東京都荒川区荒川五一九一七  
電話 〇三(六四五八)三八三八

# 株式会社 婦人之友社

代表取締役 入谷 伸夫

東京都豊島区西池袋二丁目一〇一六  
電話 〇三(三九九七)〇一〇一

# 株式会社 第三文明社

代表取締役社長 大島 光明

東京都新宿区新宿一丁目二十三十五  
電話 〇三(五二六九)七四一(代表)

# 出版平和堂維持会

会長 江草 貞治

東京都千代田区神田神保町一丁目三二  
日本出版クラブ内  
電話 〇三(五五七七)一七七七

## 出版平和堂第55回出版功労者顕彰会

### 新顕彰者11氏が決まる

2023年7月21日(金)、神保町の出版クラブビル3Fホールにて、一般財団法人日本出版クラブ 出版平和堂委員会が開催され、次の11氏を出版功労者として新たに顕彰することを決定した。

- (版元関係) 西村七兵衛(法蔵館代表取締役 会長)
- 山岸 忠雄(開隆堂出版代表取締役社長)
- 原野 圭司(新興出版社啓林館代表取締役会長)
- 田中 健五(文藝春秋代表取締役)

- 和田 肇(作品社代表取締役社長)
- 岡崎 達(弘文社代表取締役社長)
- 松居 直(福音館書店代表取締役社長(創業者))
- 藤岡 俊夫(祥伝社代表取締役社長(創業者))
- 石井 昭男(明石書店代表取締役社長(創業者))

- (取次関係) 大竹 深夫(大阪屋栗田代表取締役社長)
- (書店関係) 田中 隆次(田中書店代表取締役社長)
- (歿年順・敬称略) 田中 隆次(田中書店代表取締役社長)

なお、「第55回出版功労者顕彰会」は10月25日(水)正午より、箱根・出版平和堂で執りおこなわれる。

## 日本出版クラブ 定時理事会・評議員会開催

### 2022年度事業報告・決算報告などが承認される

2023年6月9日(金)午後1時30分より一般財団法人日本出版クラブの定時理事会と、6月27日(火)午前11時より定時評議員会がそれぞれ開催され、2022年度の事業報告・決算報告並びに公益目的支出計画実施報告等がなされ、いずれも可決承認された。

事業全般については、出版クラブの維持管理とホール・会議室の運営とともに、「第61

回全出版人大会」「出版平和堂第54回 出版功労者顕彰会」2023出版関係新年名刺交換会」の恒例事業をはじめ、70回目を迎えた「読書のめぐみ運動」や各種セミナー・出版講座などの研修事業が、コロナ禍の影響が残るなか無事おこなわれた。また、ブックガイド『忘れたくない本のほん』を刊行し、全国の公共図書館に寄贈、それに纏わるライブラリー企画展も開催した。

また2023年3月31日現在の資産等の増減について、現預金等の流動資産が前年より1千3百万円ほど増加したが、(株)出版共同ビルへの長期貸付金等が3千3百万円減少したことにより、資産は前年より2千万円の減少となった。

# 出版平和堂

「第55回出版功労者顕彰会」を2023年10月25日(水)正午より箱根・出版平和堂にて開催します。

問合せ：一般財団法人日本出版クラブ  
TEL 03(5577)1771



# 出版 歳時記

▽田舎暮らしに必需なもの  
の第一は軽自動車である。  
クルマがなければ身動き出来ないも同然だろう。身体が元氣頑強なら近所付き合いや畑仕事に不都合は無いだろうが、遠出しての買物や行楽などはそうはいかない。

▽郷里に帰ろうとなった時、父は「免許を取ってから帰って来い」と言った。高度経済成長時代を経たあと、古里は人口減少に少子化など国内の地方が抱える典型的な諸問題が解決出来ないままの、不便な山峡の山里となった実家に帰郷した。

▽亡父の乗っていたクルマを引継ぎ、その後は現在のクルマで3台目。走行距離は24万8,400kmも走っている。8年5ヵ月でこれはかなりの数値、毎日およそ80kmも走っている計算になる。独り暮らしだから気ままに外出す



☆酷暑の夏でした。不要不急の外出は控えてくださいと呼びかけられ、街中を歩いている人が少なく、書店さんは大丈夫だろうかと心配になりました。☆出版平和堂の記録板設置スペースが残り50名分ほどになったため、左右下段に1列を増設しました。これにより、160名分が増え、あと210名分を確保。年平均10名とすると20年は顕彰できること

るといふより、クルマがなければ何も出来ない状態」ということかな。ガソリン代もバカにならない。

▽農協(JA)の支店が統合されて遠くなった。経営している給油所も遠くなりセルフ方式になった。農業協同組合という命名の意義からも遠く離れて、銀行のマネ事が主流になってないかと、嫌味を投げかけてもJA

## 田舎暮らしのクルマ事情

がなければ困ってしまう。日常の消費経済はスーパーかコンビニだが、資産の口座はJAと郵便局のみ、地方銀行口座は作らないままである。持っている都市銀行のカードは上京した時に使いたくないものだ。▽で、走り廻るクルマのガソリン代は必然的にJAの引落しになるカードでの給油が専らになってしまふ。セルフ給油にも慣

になりました。☆没年順にお名前を並べているため、先日左側の最上段を右側最下段に移し、500名の方々の記録板を一段ずつ上に移動する作業を行いました。事務局から3名管理をお願いします。大沢さんご夫妻にもお手伝いいただき、半日がかりで無事完了しました。箱根はあいにく雨でしたが、おかげで気温が低く助かりました。10月25日の顕彰会の際に、ぜひご確認く

れた。

▽最近の新聞記事で目を引いたのは、EV(電気自動車)と、給油所の減少というのが。2つに直接の関係性はないが、世界的なCO<sub>2</sub>削減問題はEV開発競争で日本は遅れをとっているとのこと。走行距離も短い燃料電池の軽量化や何より車両の価格が高いとか課題山積のようだが、軽のEVを利用していう人が、自宅で充電しているというのに心惹かれた。▽自分は年金生活者である。田舎の実家に帰ったとはいえず出て行くものは出て行くのである。都会であれ田舎であれ健康問題も個人に付いてまわる。遠からず来る減り続ける年金問題に処するに「クルマ生活」をどうするか。▽ロバでも飼育してエサはその辺の草を食わせれば、燃料代のいらぬ乗り物になるのかもな。その前に健康でいなければならぬという大前提がある。(哀愁山人)

ださい。☆一面にありますように、読者のめぐみ運動への感謝状が、齊藤法務大臣から野間会長に手渡されました。法務省の職員のみなさまはさすがは矯正局、姿勢がよく、我々の出入りの際には全員起立。しつ々が行き届いているなと感心しました。☆気象庁の3ヵ月予報によれば、9月も残暑が厳しく、暑い秋になりそうです。みなさまご自愛ください。(横)

# 70<sup>th</sup> Anniversary

日本出版クラブは1953年9月18日に誕生し、今年で創立70周年を迎えます。今後も皆様の「出版クラブ」であるよう努めてまいります。

## 出版クラブホール・会議室 PUBLISHERS CLUB HALL

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

出版クラブビル

TEL 03-5577-1511/FAX 03-5577-1772

<https://shuppan-club-hall.jp/>

神保町駅(東京メトロ半蔵門線、都営新宿線・三田線)

A5 出口より徒歩2分

